

## 令和7年度第2回 豊川市地域包括ケア推進協議会 要旨

開催日時：令和8年3月26日（木）

15：00～16：25

開催場所：豊川市役所本31会議室

### 協議事項1 地域包括ケア推進協議会設置要綱の一部改正（案）について

・年4回のうち2回を高齢者福祉計画中間見直しと認知症施策推進計画について話し合うということでもいいか。（委員A）

→ （事務局回答）

第1回目、第4回目は例年と同じような内容を考えているが、必要に応じて計画のためのアンケート調査や仮案を協議していただくという形で検討している。

⇒ 要綱改正について承認いただいた。

### 協議事項2 令和8年度事業（案）について

・市民後見人養成講座の受講者はどのように募集したのか。また、年齢等の条件はあるか。（委員B）

→ （事務局回答）

成年後見制度シンポジウムに参加した89名のうち、希望者に受講していただいた。年齢の上限はない。

・「終活べんり帳」と「おや！？親！？どうしたチェックリスト」の配布方法と在庫数について教えてほしい。（委員A）

→ （事務局回答）

「終活べんり帳」は、令和7年10月に1,000部作成し、令和8年3月に2,500部増刷した。「おや！？親！？どうしたチェックリスト」も在庫はある。介護高齢課や福祉相談センターで配布している。

⇒ 出された意見も踏まえて、引き続き、各種事業を円滑に実施していくことが確認された。

### 協議事項3 地域包括支援センターの運営について（事業運営、事業評価）

・民生委員不在地区へはどのように支援しているのか。また、事業評価の考察のところ、相談事例の終結条件を定めていないとのことだが、何らかの形で終結が明確になるといいと思う。（委員A）

・民生委員の欠員があるところは見守りが難しくなっている現状はある。町内で協力しようとしても町内会加入率が低く、課題になっている。町内会への加入促進が重要だと思う。

(委員C)

→ (事務局回答)

民生委員不在地区については、近隣の民生委員に協力をしていただいたり、地域包括支援センターに一人暮らしの実態把握を依頼したりしている。市としても民生委員のなり手不足は重要な課題として認識しているため、負担の減少に努めている。

・「一人暮らし」という言葉をよく聞くが、家族がいても孤独になっている人もいる。表現の仕方を工夫できるとよいと思う。(委員D)

→ (事務局回答)

参考にさせていただき、関係者の認識の向上や市民の自助力の強化をしていきたい。

・各団体でいろいろな事業をしているが、重複している事業も多いと感じる。整理してわかりやすくなるとよいと思う。(委員D)

→ (事務局回答)

参考にさせていただき、整理していきたい。

⇒ 事業評価項目について承認いただいた。引き続き、市と地域包括支援センター間でしっかりと情報共有・連携をとり、また、PDCAサイクルを回しながら、各種事業を円滑に実施していくことが確認された。

#### 協議事項4 地域ケア会議からの課題について ※令和6年度の地域課題

・意思決定支援は今後も様々な場面で求められる。元気なうちに備えをしていただくことは重要だと思う。エンディングノートやACPは、どの程度市民に普及しているのか教えてほしい。(委員A)

→ (事務局回答)

普及率の即答はできないが、東三河広域連合が3年に1度、介護保険事業計画策定のために高齢者ニーズ調査を実施している。今年度、その調査が行われており、ACPの普及率が低ければ、来年度以降の施策に反映していく。

⇒ 各団体において、「自団体にて取り組めること」を継続実施していくこと、事務局にあつては、各団体の取り組みが円滑に実施できるよう、情報共有の支援など必要なサポートを行っていくことが確認された。

#### 協議事項4 地域ケア会議からの課題について ※令和7年度の地域課題

・東部圏域のテーマについて、利用者に対して支援する側のそれぞれの役割や支援ができる範囲を整理し、関係者に理解してもらえるとよい。(委員A)

→ (事務局回答)

それぞれの専門職としてやるべき業務を整理し、理解してもらえるような取り組みを考えていく。

- ・ポスターは、貼る場所が限られるため、電子モニターを取り入れているクリニックも多い。終活べんり帳もそうだが、電子化をすることも啓発の方法としていいと思う。(委員B)
- (事務局回答)
- すでに電子化しているものもあるが、電子化していないものは今後検討する。

⇒ 取り組んでいきたいと説明のあった取り組みについて、令和8年度第1回の地域包括ケア推進協議会作業部会にて、「各団体が実施できること」の検討ができるよう準備を進めていくことが決定された。

### 報告事項1 豊川市高齢者福祉計画の進捗管理について

- ・「豊川市高齢者福祉計画の進捗管理」について、各団体の自己評価をまとめた進捗管理シートをもとに協議会へ報告していく。自己評価にご協力いただきたい。また、令和6年度に厚生労働省が作成した指針に基づき、「日常の療養支援」、「入退院支援」、「急変時の対応」、「看取り」の4つの場面ごとに豊川市における目指すべき姿、指標を設定したため、各団体には、今後、4つの場面を意識して取り組んでいただくようお願いしたい。(事務局)

### 報告事項2 電子@連絡帳システムについて

- ・「電子@連絡帳システム」の利用者について、利用施設、専門職、登録患者数は増えている。今後も利用範囲の拡大や活用が進むよう協力をお願いしたい。(事務局)
- ・電子@連絡帳の利用団体の条件は今までと同じでいいか。(委員D)
- (事務局回答)
- 三師会や介護保険関係事業者連絡協議会の会員になっていること等を条件に利用を許可しているため、引き続き各会への加入及び電子@連絡帳の周知をお願いします。

### 報告事項3 エンディングノートの名称について

- ・豊川市では引き続き、「エンディングノート」の名称で活用していく。(事務局)

### その他

- ・豊川市地域包括ケア推進協議会作業部会はどのような委員が出席しているのか。(委員E)
- (事務局回答)
- 今回の豊川市地域包括ケア推進協議会に出席いただいている団体の他、豊川警察署や認知症疾患医療センター、社会福祉協議会等、現場に近い方々の意見を伺って、協

議できる会議になっている。

- 自分の事業所の近くで高齢者がお亡くなりになったが、ほんの数十メートル先に家族が住んでいる方だった。高齢者支援は、当事者だけではなく、その家族や子どもへの周知も必要だと思うが、今後の取り組み予定はあるか。(委員F)

→ (事務局回答)

当事者だけではなくさまざまな世代に合った情報発信ができたらと思う。みなさまに協力いただきながらすすめていきたい。